

共通専門基礎科目	からだのしくみと医療					
看護学科	必修	1単位	演習	平成30年度	前期	1年次
臨床検査学科	必修					
科目名	感染とその防御 Infection and Immunity					
担当教員	◎小松方	増谷弘	萱島すが	中村彰宏	未定	未定
目的	<p>感染症の成り立ちを宿主、微生物および環境から多面的に捉え、感染症がどのようにして成立するかを学ぶ。まず感染症の成り立ちを学び、次いで微生物に関することを学ぶ。微生物に関しては、微生物の種類と構造、微生物の種類の違いによる感染症の違い、常在菌細菌叢と環境細菌叢等を学ぶ。また滅菌・消毒の考え方、手指衛生についても学ぶ。これらについては手の細菌、あるいは環境の細菌を培養して、また顕微鏡でみて理解を深める。感染経路と感染対策の基本的な考え方も学ぶ。院内感染対策委員会・感染管理チームの責任者の経験を有する当該教員より具体的事例が示され、それをもとに何故、感染対策をする必要があるか、感染対策のポイントはどこにあるか、感染管理の実態はどうなっているかについて学ぶ。また感染対策には一人一人の自覚がいること、他職種との連携が必須であることを学ぶ。</p>					
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 感染症の成り立ち、診断および治療について理解する。 2. 微生物の種類、構造、微生物の種類による感染症の違いを理解する。 3. 医療関連対策の考え方を理解する。 4. 生体防御器具の正しい使い方について理解する。 					
他科目との関連	微生物検査学総論および各論（臨床検査学科専門） 共通基盤看護学（看護学科専門）					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	筆記試験点数				
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	ナーシング・グラフィカ5 臨床微生物・医動物 メディカ出版					
参考資料	ナースのための院内感染対策 照林社 感染対策の必須テクニック（INFECTION CONTROL増刊） メディカ出版					
備考 (受講上注意、 事前学習等)						